

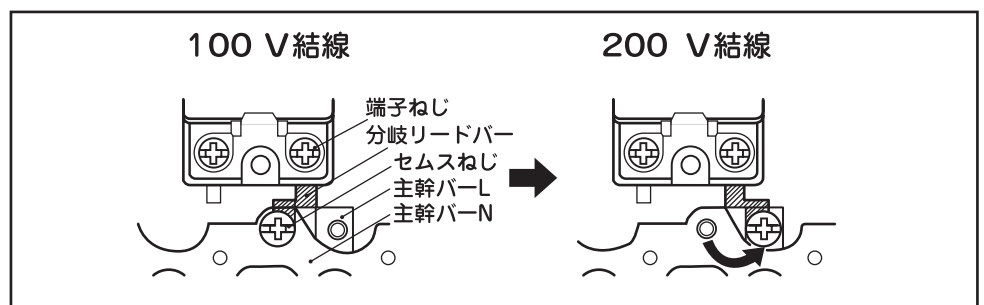
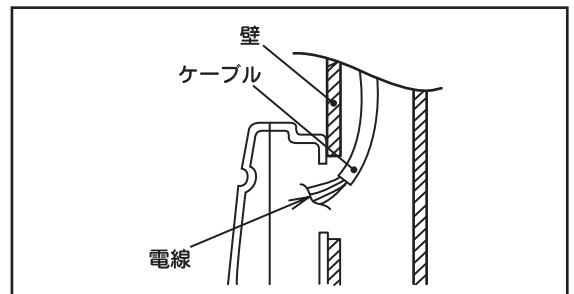
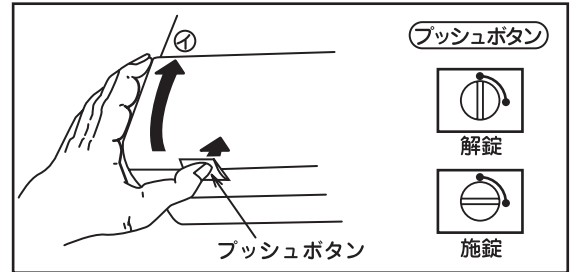
日東ホーム分電盤

施工説明書

日東ホーム分電盤を、お買い上げいただきありがとうございます。
ご使用に際しましては、次の事項をご参照ください。

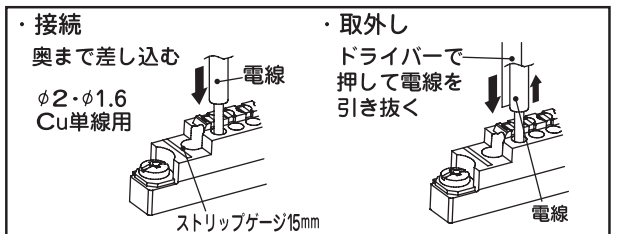
工事に際して

- カバーの取外し方:パネル下部のプッシュボタンを解錠位置にして押しながら矢印①の方向へ押し上げてください。
(プラスチックボックス使用 プッシュボタンタイプ)
- 分電盤は平らな面に取り付けてください。凹凸のある場所へ無理に取り付けますと本体がひずみ、正常な取付け状態・機能が維持できないことがあります。
また、取付けは、適切なねじ締付力で取付けてください。
ねじの締付過ぎによって本体がひずむことがあります。
- 分電盤への引込み主幹ケーブルが太い場合、本体・内部機器に干渉して本体が変形する恐れがありますので注意してください。
右図のように分電盤の外でケーブル被覆をむいて入線するなどして、分電盤内の機器への影響を少なくしてください。
- 万一のゆるみ事故防止のため、工事終了後は必ず増締めを行ってください。
- 分電盤の取付け・配線時、内部に切粉やゴミが入らないよう養生などの処置をしてください。切粉やゴミがかかると故障の原因になります。
- 分岐200V回路には、必ず2P2Eのブレーカを使用してください。(1φ3W分電盤)
【200V回路への組替手順】
 - ①端子ねじを緩め、セムスねじを取り外す。
 - ②分岐リードバーを主幹バーNから外し反転させ、主幹バーLにねじ締めします。
 - ③緩めた端子ねじは必ず締め付けてください。
 - ④200V表示ラベル(商品カバーに添付)をブレーカの見やすいところに貼ってください。



- 付属機器取付スペース付商品には、下記機器を取付けることができます。
 - 別系統の引込み開閉器。
 - 主幹ブレーカの定格電流以下で母線に介在する機器。
 - 分岐ブレーカの負荷側および母線に直接接続する機器。

●アース端子への電線接続方法



裏面もお読みください。

住宅用分電盤 施工説明書

この説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 相線式(1φ2W, 1φ3W)・回路電圧に合わせて選んでください。
感電事故の防止ができません。
- ねじ締付け・電線選定は説明書にしたがってください。
火災になる恐れがあります。

⚠ 注意

- 主幹ブレーカに電源を接続する場合は、各相を正しく接続してください。
- 単3中性線欠相保護付漏電遮断器の過電圧検出リード線は、必ず中性バーに接続してください。
異常電圧が発生し電気器具を損傷する恐れがあります。

●有資格者以外の方の電気工事は、法律で禁止されていますので絶対行わないでください。

施工上のご注意

■施工に関するご注意

- 住宅用分電盤は相線式(1φ2W, 1φ3W)・回路電圧に合わせて選んでください。
回路方式 ・単相2線式(1φ2W) 100V
・単相3線式(1φ3W) 100/200V
- 主幹ブレーカに電源を接続する場合は、各相を正しく接続してください。
相を間違えると異常電圧が発生します。
- 盤定格電流を越える主幹ブレーカは取付けないでください。
- 導電部の接続ねじは、右表の適正締付けトルク範囲内で確実に締付けてください。
- 導電部の接続ねじは、増締めを行ってください。
- 電線サイズは最大想定負荷電流に適合したものを使用してください。
主幹ブレーカ、分岐ブレーカに接続する電線サイズは右表より選んでください。
- 分岐ブレーカには単線2本を接続しないでください。
- 圧着端子・圧着工具はJISマーク品を使用してください。
電線に適合した圧着端子を使用してください。
- 主幹ブレーカ2次側端子からの臨時配線、及びフリースペースからの仮配線は行わないでください。
- 単3中性線欠相保護付漏電遮断器の過電圧検出リード線は、必ず中性バーに接続してください。接続しないと、欠相した場合に、電気器具を保護できません。

導電部の接続ねじ適正締付けトルク

ねじの呼び径	締付けトルクN・m
M4	1.2~1.6
M5	1.6~2.0
M6	3.0~4.0
M8	5.5~7.0

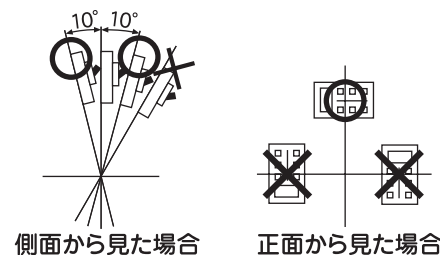
備考:機器端子M5圧着方式の場合は2.0~2.5N・m

主幹ブレーカ・分岐ブレーカ適合電線サイズ

主幹・分岐 ブレーカの定格電流	電線サイズ
20A	φ1.6~φ2.0
30A	φ2.6, 5.5~8.0mm ²
40A	8.0~14.0mm ²
50A・60A	14.0~22.0mm ²
75A	22.0~38.0mm ²
100A	38.0mm ²

■設置に関するご注意

- 住宅用分電盤は、容易に操作・点検のできる場所に取付けてください。
戸棚・便所・浴室などの内部には取付けないでください。
- 高温・多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃など異常な環境での使用は避けてください。機能を損ないます。
- 屋内で使用してください。
屋外や雨のかかる場所には使用できません。
- 住宅用分電盤を取付ける壁面は、平らな面を選んでください。
凹凸のある場所へ無理に取付けないでください。
- 住宅用分電盤は、右記図中に示す範囲内で使用してください。
- 住宅用分電盤の前面には、障害になるようなものを置かないでください。



■使用上のご注意

- 分岐回路を200Vで使用するときは、必ず2P2Eの分岐ブレーカを使用してください。
分岐回路を200Vに切替える場合の手順は、商品に貼付け又は添付している説明書通りに行ってください。
また、200Vに切替えた場合は、必ず200Vの表示をしてください。
- 線間の絶縁抵抗測定は漏電遮断器が故障します。
- 不要な動作を防ぐため、商品に表示してある主幹ブレーカ定格電流の80%以内でのご使用をお奨めします。

お願い

- 工事が終わったら、商品に同梱してある取扱説明書に施工電気工事業者名(指定がある場合は連絡先)をご記入の後、お客様に取扱方法を説明し、お渡しください。

NITO 日東工業株式会社

愛知県愛知郡長久手町蟹原2201番地
〒480-1189 TEL(0561)62-3111(代)